

JIS

光学薄膜付きガラス

JIS R 3221 : 2022

(FGMAJ/JSA)

令和 4 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	植 木 暁 司	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	輿 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式 会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	福 田 孝 晴	一般社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 2.3.1 改正：令和 4.3.22

官 報 掲 載 日：令和 4.3.22

原 案 作 成 者：板硝子協会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13 NBF 高輪ビル TEL 03-6450-3926)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
3.1 基本定義	2
3.2 欠点の定義	3
4 種類	4
4.1 光学薄膜付きガラスの種類	4
4.2 厚さによる種類	5
4.3 日射熱遮蔽性による種類	5
5 品質	5
5.1 外観	5
5.2 色差	6
5.3 形状及び寸法	6
5.4 性能	7
5.5 耐久性	7
6 材料板ガラス	8
7 試験方法	8
7.1 供試体	8
7.2 外観試験	9
7.3 色差試験	11
7.4 寸法の測定	15
7.5 日射熱遮蔽性, 放射率, 可視光反射率, 耐光性, 耐摩耗性, 耐酸性及び耐アルカリ性試験	16
8 検査	19
9 包装	19
10 表示	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
附属書 JB (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	22
解 説	26

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、板硝子協会（FGMAJ）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS R 3221:2002** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

光学薄膜付きガラス

Optical coated glass

序文

この規格は、2011年に第1版として発行されたISO 11479-1及びISO 11479-2を基とし、我が国の市場の実態に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照表を附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、主に建築用に使用する光学薄膜付きガラスについて規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 11479-1:2011, Glass in building—Coated glass—Part 1: Physical defects

ISO 11479-2:2011, Glass in building—Coated glass—Part 2: Colour of façade (全体評価: MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS C 1609-1 照度計 第1部: 一般計量器

JIS R 3106 板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法

JIS R 3202 フロート板ガラス及び磨き板ガラス

JIS R 3205 合わせガラス

JIS R 3206 強化ガラス

JIS R 3208 熱線吸収板ガラス

JIS R 3212 自動車用安全ガラス試験方法

JIS R 3222 倍強度ガラス